

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 27 年 11 月 23 日（祝）午前 10 時から午後 11 時 30 分
開催会場	中恵土公民館
班長	川上文浩
司会者	川上文浩
報告者	林則夫、川合敏己、中村悟、川上文浩
記録者	可児慶志、亀谷光、田原理香、富田牧子
参加議員	可児慶志、林則夫、亀谷光、田原理香、川合敏己、富田牧子、中村悟、川上文浩
参加者数	17 人
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度決算審査などに関する報告</li> <li>・平成 28 年度予算編成に対する提言などに関する意見交換</li> </ul>
主な意見 提言等	<p>【1 グループ】</p> <p>地域課題解決型キャリア教育支援について</p> <p>問 議会改革の中の高校地域課題解決型キャリア教育支援事業の趣旨・目的は。</p> <p>答 地域への愛着、当事者意識の醸成によって若い世代が地域を離れて大学に行っても、例えば就職は可児市となるようなきかけ作りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が戻って来られるよう、魅力ある可児市になっていないといけない。</li> <li>・総論は何処でも同じ、具体的にどうしていくかが大事。</li> </ul> <p>議会報告会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に意見が言える場が無い。肩書きが無くても自由に言える場がほしい。</li> </ul> <p>地域要望について</p> <p>問 前波自治会から、信号機や押しボタン・カーブミラーなどの設置を要望 10 年もの間ずっと要望書を出し続けているが、なかなか満足な回答が得られない。何がだめなのか分からないが、どうしたものか。</p> <p>答 現在、可児市全体で 400 本の要望書がある、その内 4 割が解決のある回答。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域要望に対する回答書のあり方として、基準を示す必要がある。プロに入ってもらって、要望の中身を精査することも大事。</li> <li>・単に欲しいから要望するのではなく、要望の仕方を考える必要がある。実態把握をすることが大事。調査やデータに基づいた説得性のある要望書にすべき。</li> </ul> <p>問 市長の手紙や可児市への要望・請願について、議会は把握しているか。</p> <p>答 まったく分からない。情報共有し、個人の問題なのか可児市全体に関わることを選択して議会としても受け止めたい。議会でも、目安箱を設けるなどしたい。</p>

問 地域で新しい店が出来たが、店の周りの清掃がされていない。いかがなものか。  
・条例作りとまでいなくても、商工会議所から言ってもらえるとありがたい。『地域の中の店』を意識して清掃活動に努めてほしい。店の価値も高めることになる。

道路改良について

- ・安全な街づくりとして道路整備を考えていただきたい。車道は問題ないが、自転車道はガタガタで自転車のことを考えていない。又、草取りも出来ていない。

### 【2グループ】

議会報告会のあり方について

- ・市民の参加者が少ないことは、行政に反映してほしいこと、困ったことが少ないため報告会を開催する意味がないのでは。原因を考えることが必要。

議員活動について

- ・議員活動に対して関心を高めるためには、議員の活動する姿が見えないので、さらに積極的に地域へ顔を出す。
- ・文化や伝統の違いを受け入れ、発想の転換をして革新的・刺激的な活動をする
- ・行政の職員も能力はあるがもっと民間の発想で喧々譁々の議論をする
- ・議員がサラリーマン化している。情熱をもって活動すること

道路改良について

- ・生活道路の整備及び通学路の安全確保が不十分であるため、道路改良の予算確保を求める。議員個人で対応できなければ、専門分野別に窓口などの住民との接点を作る。

名鉄広見線について

- ・若者や高齢者さえも利用していないし、ランドマークもない路線を維持することは無駄である。通学だけであれば、バス対応もできるはず。本質を避けて表だけの論議をしている。最終的な着地点を明確にして、年次進捗を確認しながら存続の議論をする

### 【3グループ】

議会のトビラについて

- ・民生費の中身がわからない、写真をやめて、もっと項目を書いた方が良い。

名鉄広見線について

- ・御嵩町は頑張っているのに、可児市は3,000万円も出している効果が見えない。東濃高校生が減っているので対策が必要。また、シルバーに対しての回数券をつくったり、運賃の値引きなどをすると、孫を連れて名鉄広見線を利用してくれるかもしれない。今後、広見東部の東海環状のインターが可児市の東の玄関口となるので、西の玄関口として、可児駅前を活性化すべきだ。現在の駅前ロータリーは小さいので、もっと広げてほしい。また、蛍橋付近の自然環境の保持も必要だ。昔の中心地だったところを生かして、新しいまちづくりをしてほしい。

河川管理について

- ・瀬田川の中の木を切ってもらったが、川の泥も排出してほしい。

18歳選挙権について

- ・高校生への働きかけと投票率の低下について、議会としての対策はあるのか。

ワクチン接種について

- ・ワクチンの種類も多く、生後2か月から予防接種が始まるが、子育て世代へちゃんと情報は届いているのか。

名古屋市で起きた中学生の自殺について

- ・小さい時からいじめはいけないと教えていくべきだ。可児市では、どう取り組んでいるのか。子どもが遊べる場所が必要ではないか。地域で子どもたちが遊べるように、自治会の集会所を解放し、大人が得意なことを指導して、安心して子どもを行かせる場所にしてはどうか。

可児市の魅力について

- ・環境は良いが、具体的に魅力があげられないのが問題。広見東が発展すると、どこが市の核になるのかわからない。

#### 【4グループ】

自治会の在り方について

- ・自治会は自分で治めるとなりますが人間が生きていく上で最も基本的なこと、我々が快適な生活を得ようとしたとき個人では限界があるので、地縁の者が集まって組織化したのが自治会です。

その中で最も身近な問題である生活ごみの問題に提案があります。廃棄物処理法に国民はごみを出してはいけないとあります。が、そうもいかないのが付則があります。

しかし、原則にはごみは個人で処分しなければなりません。

そこで自治会が機能してごみを集めて市の処分場に搬入するシステムは確立されました。そこで問題になるのが昨今大きく取り上げられる自治会加入率の低下です。非自治会員であってもごみの処理に困らないことが最も大きな要因だと考えています。

役員に選ばれそうになったので自治会を退会するということがあり、その折、ごみの受け入れを断ったところ大変恐ろしい経験をいたしました。

自治会が置いているものは半公共性があると認識されているのです。

管理者の許可を得て出すようにホームページの文言を変えるようお願いしていますがなしのつぶてであります。

平和ボケしているこの地区では住民同士の共助の重要性はあまり切実でなく、自治会加入の理由は広報の回覧板とごみ処理しかありません。

自治会員以外は持ち込めないことを明確にして、自治会加入率を上げることがよろしいのではないかと考えます。決して行政が自由加入の自治会を強制していないことを

示すためには、公民館、市役所に集積所を設けるべきです。

可児駅東土地区画整理事業について

- ・ 駅前広場幹線道路工事が着手して約3年半。遅々として進んでないのでは。この3年間の間にその進み状況を細かく地域の住民に説明がない。今はどのような状況か今後の見通しを説明してください。

市の事業の中で大プロジェクト工事についての進捗状況など住民にたえず細かく説明をするべきです。

河川管理について

- ・ 可児川の河川敷地の地内において農作物、家庭菜園などを耕作されている地域が多くあります。又、橋梁柱の周辺にも同じように耕作されている豪雨災害時における安全、橋梁柱安全を考えると耕作をやめるよう指導してください。地域は石井、乗里の河川敷地です。

悪臭対策について

- ・ 名城大学の学生ですが可児市のニオイが気になります。方法はないのでしょうか。

平成27年11月30日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 中恵土公民館会場 班長 川上 文浩 ㊞